

# <令和6年度 後期 自己評価>

銀の鈴保育園 令和7年3月  
(保育士及び保育補助業務にあたっている職員23名が実施)

| 項目          | 評価内容                                                                                  | よく出来ている    | ほぼ出来ている    | 努力が必要     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-----------|
| 1・保育理念・保育計画 | 1-①<br>保育の基本（保育指針）を理解している。                                                            | 7人（30.4%）  | 15人（65.2%） | 1人（4.3%）  |
|             | 1-②<br>園の理念や保育目標を理解している。                                                              | 8人（34.8%）  | 15人（65.2%） | 0人（0%）    |
|             | 1-③<br>園の全体的な計画（保育課程）を理解し、それに基づいて、保育の計画を立てている。                                        | 5人（21.7%）  | 13人（56.5%） | 5人（21.7%） |
|             | 1-④<br>養護及び教育が一体的に展開されることを理解し、指導計画を作成している。                                            | 7人（30.4%）  | 12人（52.2%） | 4人（17.4%） |
|             | 1-⑤<br>各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している。                          | 8人（34.8%）  | 11人（47.8%） | 4人（17.4%） |
|             | 1-⑥<br>自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしている。                                          | 8人（34.8%）  | 10人（43.5%） | 5人（21.7%） |
| 2・保育環境      | 2-①<br>一人ひとりが安心して過ごせる環境が整っている。                                                        | 8人（34.8%）  | 15人（65.2%） | 0人（0%）    |
|             | 2-②<br>子どもが主体的に関わりたくなるような遊びの準備が出来ている。                                                 | 7人（30.4%）  | 14人（60.9%） | 2人（8.7%）  |
|             | 2-③<br>子どもが自ら遊びを展開していけるような場や空間の構成が出来ている。<br>また、子どもの活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している。 | 5人（21.7%）  | 14人（60.9%） | 4人（17.4%） |
|             | 2-④<br>遊びに必要な遊具や用具、素材など質、数量に配慮して用意している。                                               | 9人（39.1%）  | 13人（56.5%） | 1人（4.3%）  |
|             | 2-⑤<br>子どもの発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示をしている。                                                | 11人（47.8%） | 12人（52.2%） | 0人（0%）    |
|             | 2-⑥<br>自然とのふれあいを大切に心が豊かになるよう配慮している。                                                   | 13人（56.5%） | 10人（43.5%） | 0人（0%）    |
|             | 2-⑦<br>季節の変化に応じて、保育室の環境を整えている。                                                        | 13人（56.5%） | 8人（34.8%）  | 2人（8.7%）  |
|             | 2-⑧<br>子どもの発達や生活を見通した環境構成が出来ている。                                                      | 8人（34.8%）  | 13人（56.5%） | 2人（8.7%）  |
| 3・子どもとの関わり  | 3-①<br>一人ひとりの発達を理解して接している。                                                            | 10人（43.5%） | 12人（52.2%） | 1人（4.3%）  |
|             | 3-②<br>一人ひとりの生理的欲求が満たされるよう配慮している。                                                     | 10人（43.5%） | 13人（56.5%） | 0人（0%）    |
|             | 3-③<br>子どもの思いや考えに共感し受け止めている。                                                          | 12人（52.2%） | 10人（43.5%） | 1人（4.3%）  |
|             | 3-④<br>子どもとの温かなやり取りや、スキンシップを心掛けている。                                                   | 15人（65.2%） | 8人（34.8%）  | 0人（0%）    |
|             | 3-⑤<br>子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。                                          | 11人（47.8%） | 12人（52.2%） | 0人（0%）    |
|             | 3-⑥<br>わかりやすい言葉で穏やかに話し掛けている。                                                          | 11人（47.8%） | 11人（47.8%） | 1人（4.3%）  |
|             | 3-⑦<br>子どもの年齢に応じて援助の仕方を工夫している。また、子どもが自ら考えたり行動出来るように見守り、行き詰っている時には適切な援助を行っている。         | 9人（39.1%）  | 12人（52.2%） | 2人（8.7%）  |
|             | 3-⑧<br>制止やせかす言葉を不用意に使わず、一人ひとりに合わせた対応をしている。                                            | 5人（21.7%）  | 13人（56.5%） | 5人（21.7%） |
|             | 3-⑨<br>子どもを無視したり、体罰を加えたりすることは、いかなる場合もせず、子どもの人権を尊重している。                                | 21人（91.3%） | 2人（8.7%）   | 0人（0%）    |
|             | 3-⑩<br>子ども同士の関係を良くするような言葉掛けをしている。また、喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを聞き丁寧に対応している。                | 14人（60.9%） | 9人（39.1%）  | 0人（0%）    |
|             | 3-⑪<br>年齢に応じた社会的ルールを身に付けていけるように配慮している。                                                | 12人（52.2%） | 11人（47.8%） | 0人（0%）    |
|             | 3-⑫<br>子どもが保育者の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合える場面を設けるようにしている。                                  | 12人（52.2%） | 11人（47.8%） | 0人（0%）    |
|             | 3-⑬<br>保育者自身が一緒に体を動かしながら、保育を楽しんでいる。                                                   | 15人（65.2%） | 8人（34.8%）  | 0人（0%）    |

|                 |                                                                                             |             |             |            |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|------------|
| 4・職員間の連携        | 4-①<br>クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉掛けや対応をするように心掛けている。                                           | 14人 (60.9%) | 9人 (39.1%)  | 0人 (0%)    |
|                 | 4-②<br>保育についての話し合いがなされ、職員間で共通理解をするよう心掛けている。                                                 | 7人 (30.4%)  | 13人 (56.5%) | 3人 (13%)   |
|                 | 4-③<br>それぞれの役割を把握し、適切な動きが出来ている。                                                             | 8人 (34.8%)  | 13人 (56.5%) | 2人 (8.7%)  |
| 5・保護者への対応       | 5-①<br>保護者に個々の子どもの様子を伝える工夫をしている。                                                            | 9人 (39.1%)  | 13人 (56.5%) | 1人 (4.3%)  |
|                 | 5-②<br>保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くよう心掛けている。                                                   | 12人 (52.2%) | 10人 (43.5%) | 1人 (4.3%)  |
|                 | 5-③<br>保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針に従い、園児や保護者、家族の情報は、口外しない。                                | 23人 (100%)  | 0人 (0%)     | 0人 (0%)    |
|                 | 5-④<br>日常生活において、その場に合った正しい言葉を使っている。                                                         | 11人 (47.8%) | 12人 (52.2%) | 0人 (0%)    |
|                 | 5-⑤<br>電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心掛けている。                                  | 13人 (56.5%) | 10人 (43.5%) | 0人 (0%)    |
|                 | 5-⑥<br>保護者からの依頼や伝言などについては、メモをするなどし、もれのないよう対応をしている。                                          | 15人 (65.2%) | 8人 (34.8%)  | 0人 (0%)    |
|                 | 5-⑦<br>保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に報告、連絡、相談をする。内容によっては職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。           | 14人 (60.9%) | 9人 (39.1%)  | 0人 (0%)    |
| 6・社会と地域の関わり     | 6-①<br>地域の人々と親しく挨拶を会話をするよう心掛けている。                                                           | 14人 (60.9%) | 9人 (39.1%)  | 0人 (0%)    |
|                 | 6-②<br>地域の自然や施設、行事について理解するよう努めている。                                                          | 8人 (34.8%)  | 13人 (56.5%) | 2人 (8.7%)  |
|                 | 6-③<br>小学校の教育内容について理解し、幼・保・小の連携に努めている。                                                      | 3人 (13%)    | 12人 (52.2%) | 8人 (34.8%) |
|                 | 6-④<br>子育て支援や地域開放について具体的な形や内容を理解している。                                                       | 6人 (26.1%)  | 12人 (52.2%) | 5人 (21.7%) |
| 7・健康と安全         | 7-①<br>園内の清掃や整理整頓、換気、彩光、室温などにも気を配り、清潔で快適を維持し、子どもが安心して過ごせる場所を提供している。                         | 11人 (47.8%) | 12人 (52.2%) | 0人 (0%)    |
|                 | 7-②<br>登園時には特に視診を丁寧に行い、子どもの体調を確認している。                                                       | 14人 (60.9%) | 9人 (39.1%)  | 0人 (0%)    |
|                 | 7-③<br>一人ひとりの体調をしっかりと把握し食事の量や内容を変えるなどの配慮をしている。                                              | 14人 (60.9%) | 9人 (39.1%)  | 0人 (0%)    |
|                 | 7-④<br>怪我や事故に気を付け、万が一、怪我や事故が発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている。                 | 15人 (65.2%) | 8人 (34.8%)  | 0人 (0%)    |
|                 | 7-⑤<br>園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は、安全な遊び方について子どもと一緒に考えて、怪我や事故が起きないように努めている。 | 12人 (52.2%) | 11人 (47.8%) | 0人 (0%)    |
|                 | 7-⑥<br>地震などの災害や火災に備え、積極的に避難訓練に参加し、非常災害時に自分が何をしなければならないか理解している。                              | 11人 (47.8%) | 10人 (43.5%) | 2人 (8.7%)  |
| 8・自己成長への意欲と自己ケア | 8-①<br>自分の保育スキルの向上を目指し、研修や勉強会に積極的に参加している。                                                   | 6人 (26.1%)  | 14人 (60.9%) | 3人 (13%)   |
|                 | 8-②<br>自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行っている。                                                        | 6人 (26.1%)  | 15人 (65.2%) | 2人 (8.7%)  |
|                 | 8-③<br>自分の保育の在り方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談できている。                                                | 5人 (21.7%)  | 17人 (73.9%) | 1人 (4.3%)  |
|                 | 8-④<br>自分自身のストレスを適切に管理し、保育の質に影響を与えないようにしている。                                                | 7人 (30.4%)  | 16人 (69.6%) | 0人 (0%)    |
|                 | 8-⑤<br>心身の健康を保ちながら、長期的に安定した保育活動ができている。                                                      | 5人 (21.7%)  | 17人 (73.9%) | 1人 (4.3%)  |

## 1, 全体の傾向

| 設問 | カテゴリ              | 項目数 | よく出来ている(人) | ほぼ出来ている(人) | 努力が必要(人) |
|----|-------------------|-----|------------|------------|----------|
| 1  | ・保育理念・保育計画        | 6   | 43         | 76         | 19       |
| 2  | ・保育環境             | 8   | 74         | 99         | 11       |
| 3  | ・子どもとの関わり         | 13  | 157        | 132        | 10       |
| 4  | ・職員間の連携           | 3   | 29         | 35         | 5        |
| 5  | ・保護者への対応          | 7   | 97         | 62         | 2        |
| 6  | ・社会との関わり・地域の自然や文化 | 4   | 31         | 46         | 15       |
| 7  | ・健康と安全            | 6   | 77         | 59         | 2        |
| 8  | ・自己成長への意欲と自己ケア    | 5   | 29         | 79         | 7        |

## 2, 改善が必要な項目

|     | 評価内容                                                                           | 努力が必要割合 (%) |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1-③ | 園の全体的な計画（保育課程）を理解し、それに基づいて、保育の計画を立てている。                                        | 21.7        |
| 1-④ | 養護及び教育が一体的に展開されることを理解し、指導計画を作成している。                                            | 17.4        |
| 1-⑤ | 各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している。                          | 17.4        |
| 1-⑥ | 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしている。                                          | 21.7        |
| 2-③ | 子どもが自ら遊びを展開していけるような場や空間の構成が出来ている。<br>また、子どもの活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している。 | 17.4        |
| 3-⑧ | 制止やせかす言葉を不用意に使わず、一人ひとりに合わせた対応をしている。                                            | 21.7        |
| 6-③ | 小学校の教育内容について理解し、幼・保・小の連携に努めている。                                                | 34.8        |
| 6-④ | 子育て支援や地域開放について具体的な形や内容を理解している。                                                 | 21.7        |

## 3, 主な傾向

子どもとの関わり（カテゴリ3）

項目数が最も多く、他カテゴリよりも「よく出来ている」の回答が多数。子どもに対する直接的な関わりに自信を持っている職員が多いことがうかがえます。

保護者対応（カテゴリ5）、健康と安全（カテゴリ7）

「努力が必要」が少なく、概ね安定した実践ができていると考えられます。

保育理念・保育計画（カテゴリ1）・社会との関わり（カテゴリ6）

比較的「努力が必要」の割合が高く、理念や地域資源活用に関する理解や実践に課題がみられます。

自己成長への意欲と自己ケア（カテゴリ8）

「ほぼ出来ている」が多く、日常業務に追われる中で自己研鑽やセルフケアに十分な時間を取れていない様子も一部に見られます。

## 4, 園の自己評価と課題への対策

全体的に「子どもとの関わり」において高い評価が多く見られました。特に、一人ひとりの子どもの気持ちや発達を丁寧に受け止め、適切な援助や関わりを行う姿勢が職員全体でしっかり根付いていることが伺えます。また、保護者への対応や健康・安全の分野でも「よく出来ている」の回答が多く、安心・安全な保育環境を維持し、保護者との信頼関係を築く意識が高いことが評価に現れました。日々の保育の中で、基本的な生活習慣や社会性を育む支援を丁寧に実践していることが伺え、園全体で共通理解をもって取り組んでいる点は大きな強みと考えます。今後もこの安定した実践を大切にしながら、さらに専門性を深めていきたいと考えます。

保育理念や保育計画、地域との関わりにおいて「努力が必要」との回答が一定数見られたことから、全体的な理解を深める研修や振り返りの機会を充実させることが重要と判断します。具体的には、園の理念や保育課程を具体的な事例に即して学ぶ研修を定期的に開催し、実践への落とし込みを図ります。また、地域資源の活用については、散歩や行事で地域の文化や自然に触れる活動を計画し、体験を通して職員の理解と関心を高める工夫について等、学び合う機会を設けます。

自己成長や自己ケアについても負担感を軽減できるよう、休憩時間の確保や外部研修への参加支援を行い、学び続ける意欲を後押しする体制づくりを進めていきます。